TravelMate 5744

ユーザーガイド



TravelMate 5744 ユーザーガイド
初版：2011 年 5 月

モデル番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

シリアル番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

購入日：＿＿＿

購入場所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

安全に快適にご使用いただくために

安全に関するご注意

下記の注意をよくお読みください。このドキュメントはいつでも参照できるように保管しておいてください。製品に記載される警告と指示には必ず従ってください。

お手入れをする前に電源を切ってください。

お手入れをする前にコンセントから製品を外してください。液体クレンザーやエアゾールクレンザーはお使いにならないでください。お手入れには湿らせた布をお使いください。

警告

電源コードの接続

電源コードを差し込むコンセントは、簡単に手が届き、装置を操作する人にできるだけ近い場所にあることを確認してください。装置の電源を切る場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

電源の外し方

電源を電源供給装置に接続、および取り外す場合は、次のガイドラインに従ってください。

電源コードをコンセントに接続する前に、電源供給装置を設置してください。

コンピュータから電源ユニットを外す前に、電源コードを外してください。

システムに複数の電源がある場合は、すべての電源コードを電源供給装置から外すことによってシステムの電源を切ります。

<u>電源の使い方</u>

- この装置は、表記ラベルに示されたタイプの電源を使用する必要があります。電源タイプが分からない場合は、販売店またはお近くの電力会社にお尋ねください。
- 電源コードの上に物を載せないでください。コードを踏みやすい場所にこの製品を設置しないでください。
- この製品に延長コードを接続する場合は、その延長コードに接続される装置の合計アンペア数が延長コードのアンペア数を超えないように注意してください。またコンセントに接続するすべての製品の合計値がフューズの値を超えないようにしてください。
- デバイスを接続しすぎて、コンセント、ストリップ、レセプタクルに負荷をかけ過ぎないでください。システム全体の負荷値が、枝路の回路レートの 80% を超えないようにしてください。電源ストリップを使用する場合は、負荷値が電源ストリップの入力レートの 80% を超えないようにしてください。
- この製品の AC アダプタには、3 線接地プラグが付帯されています。このプラグはアースされた電源コンセントにしか挿入できません。AC アダプタのプラグを挿入する前に、コンセントが正しくアースされていることを確認してください。プラグをアースされていないコンセントに接続することはお止めください。詳しくは、電気技師にお尋ねください。

警告！接地ピンは安全のための機能です。正しく接地されていないコンセントを使用すると、電気ショックやケガの原因となります。

注意：接地ピンはこの製品の性能に影響を与え得る、近くの他の電子装置によりノイズが発生されるのを防止する目的もあります。

- システムは 100 から 120 ボルト、または 220 から 240 ボルトで使用することができます。システムに同梱されている電源コードは、システムを購入された国 / 地域の規格に準拠したものです。海外 / その他の地域でシステムをご使用になる場合は、その場所の規格に合った電源コードをお使いください。電源コードの規格についての詳細は、専門販売店、またはサービスプロバイダーにお問い合わせください。

聴覚保護

警告：イヤフォンまたはヘッドフォンを使って長時間音楽を聴くと、聴覚障害を引き起こす原因となります。



聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。
- 長時間高音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に高音で音楽を聴かないでください。

- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

<u>ダミーカードについて</u>

注意： このセクションに記載される説明は、一部のコンピュータにのみ該当します。

このコンピュータにはカードスロットにプラスチック製のダミーカードが挿入されています。このダミーカードは使用されていないスロットにゴミや金属の異物、その他ホコリなどが入るのを防止するために挿入されています。このダミーカードはスロットを使用しないときのために保存しておいてください。

<u>全般</u>

- 水場の近くでは使用しないでください。
- 不安定なカート、スタンド、またはテーブルの上に設置しないでください。製品が落下すると、破損する恐れがあります。
- スロットや通気口は製品を安定して稼働させ、過熱から防止するために通気のために設けられています。これらの通気口を塞いだり、覆ったりしないでください。製品をベッド、ソファ、絨毯、その他同様の柔らかいものの上に設置すると、製品の通気口を塞いでしまいます。この製品はヒーターやストーブの近く、またはそれらの上に置いたり、適切な通気が設けられていない作りつけの棚の中に設置したりしないでください。
- 通気孔やスロットに異物を押し込まないでください。異物が高電圧部分に触れたり、パーツがショートしたりすると、火災や電気ショックの原因となり大変危険です。製品に液体をこぼさないでください。

- 内部コンポーネントへのダメージと、バッテリー漏れを防止するために、製品を振動の激しい場所に設置しないでください。
- スポーツ施設、騒音の激しい場所、激しく揺れる場所に製品を設置すると、ローター装置、HDD、光学ドライブがショートしたり、故障したりする可能性があります。またリチウム電池が露出する場合もあります。
- 製品の底部、通気孔周囲、AC アダプタは高温になる場合があります。火傷を防止するために、製品が作動している間はこれらに触れないでください。
- この製品と拡張機器には、小さい部品が含まれています。これらの部品は、お子様の手の届かない場所に保管しておいてください。

製品補修

この製品のカバーを開けたり、外したりすると、危険な電圧が流れていたり、その他の危険性があるため、絶対にお客様ご自身でコンピュータを補修しないでください。補修が必要な場合は、専門のサービス担当者にお問い合わせください。

次のような場合は、この製品をコンセントから外し、専門のサービス担当者に補修を依頼してください。

- 電源コードまたはプラグが破損、擦り切れ、磨耗している場合。
- コンピュータに液体がこぼれた場合。
- コンピュータが雨や水に濡れてしまった場合。
- コンピュータが落下した、またはケースが破損した場合。
- コンピュータの性能が著しく劣化した場合、または補修の必要性が示されている場合。

- 操作の手順に従っても、コンピュータが正常に作動しない場合。

  注意：操作の手順が記載されているコントロールしか調整できません。その他のコントロールを不正に調整すると故障の原因となり、さらには専門技術者による補修が必要となりかねません。

バッテリーの安全な使用について

本製品はリチウムイオン バッテリーを使用します。湿気の多い場所、濡れた場所、あるいは腐食性のある環境では使用しないでください。バッテリーは熱源の近く、高温になる場所、直射日光が当たる場所、オーブンレンジ内、あるいは密封パック内の中に置いたり、保管したり、放置したりしないでください。また 60°C（140°F）以上の環境に放置することもお止めください。これらの注意に従わなければ、バッテリーから酸が漏れ出し、高温になったり、爆発、発火するなどしてケガや損傷の原因となります。バッテリーに穴を開けたり、開いたり、解体したりしないでください。漏れ出したバッテリー液に触れてしまった場合は、水で完全に液を洗い流し、直ちに医者の指示を仰いでください。安全のため、またバッテリーを長くお使いいただくために、0°C（32°F）以下または 40°C（104°F）以上の環境では充電を行わないでください。

新しいバッテリーは 2、3 回完全な充電と放電を繰り返した後でなければ完全な性能を発揮しません。バッテリーは数百回充放電を繰り返すことができますが、最終的には消耗してしまいます。作動時間が著しく短くなったときには、新しいバッテリーに交換してください。バッテリーは認証されたものをご使用になり、充電の際も本製品専用の充電器のみをご使用ください。

バッテリーは目的に合わせてご使用ください。破損した充電器やバッテリーは絶対にご使用にならないでください。バッテリーをショートさせな

いでください。バッテリーはコイン、クリップ、ペンなどの金属製品がバッテリーの陽極と陰極に直接触れるとショートします。(バッテリーについている金属片のようなものが極です。) 例えば予備のバッテリーをポケットやバッグの中などに入れておいた場合などに、ショートする可能性が高くなります。ショートが発生すると、バッテリーや接触した製品の故障の原因となります。

バッテリーを高温または低温の場所 (夏や冬の車内など) に放置すると、バッテリーの性能および寿命は低下します。バッテリーは常に 15°C から 25°C (59°F から 77°F) の環境で保管するようにしてください。熱すぎたり、冷たすぎたりするバッテリーを使用すると、たとえバッテリーが完全に充電されていても、製品が一時的に使用できなくなる場合があります。凍結するような環境では、バッテリーの性能が特に低下します。

バッテリーを火の中に投げ込むと爆発する恐れがあります。バッテリーが破損している場合も爆発する可能性があります。ご使用済みバッテリーはお住まい地域の規定にしたがって処理してください。できる限りリサイクルにご協力ください。バッテリーは家庭用ゴミとして破棄しないでください。

ワイヤレス装置はバッテリーの干渉を受けやすく、性能に影響を及ぼす場合があります。

> **注意**：バッテリーの出荷ドキュメントについては、**www.acer.com** を参照してください。

バッテリーの交換

本製品はリチウムイオン バッテリーを使用します。バッテリーを交換する際は、コンピュータに付いていたものと同じタイプのバッテリーをご使用

ください。別のタイプのバッテリーを使用すると、火災や爆発の原因となります。

警告！ バッテリーは正しく取り扱わなければ爆発する危険性があります。バッテリーを解体したり、火の中に投げ込んだりしないでください。子供の手に届かないところに保管してください。使用済みのバッテリーを破棄する場合は、お住まい地域の規定に従ってください。

光学ドライブ装置についての注意

注意： このセクションに記載される説明は、一部のコンピュータにのみ該当します。

注意：この装置にはレーザーシステムが含まれており、「クラス１ レーザー製品」として分類されています。この製品に関して問題が生じた場合は、お近くの専門サービスセンターまでお問い合わせください。被曝を防止するために、お客様ご自身で外装を開かないでください。

クラス１ レーザー製品
警告：開くと、目に見えないレーザー放射があります。
被曝しないようにしてください。

警告！安全のために、コンポーネントを追加または交換する際は、本製品専用のパーツをご使用ください。オプション製品の購入については、販売店へお尋ねください。

無線周波数の干渉

警告！安全のために、次のような状況でラップトップコンピュータを使用する場合はワイヤレス装置や無線装置をすべて切ってください。これらの装置とは、無線 LAN (WLAN)、Bluetooth、3G を含みますが、これらだけに限りません。

お住まい地域の規定にしたがってください。また使用が禁止されている場所または干渉や危険を引き起こす可能性がある場所では、必ず装置の電源を切ってください。装置は必ず正常な操作位置でご使用ください。この装置は正常な状態で使用するとき RF 被爆規定に準拠します。装置とアンテナは使用者から 1.5 センチ以上離れた場所に設置してください。金属は絶対に使用せず、装置は上記に記載した条件で設置してください。データファイルやメッセージを転送するには、ネットワーク接続の状態が良くなければなりません。場合によっては、接続が使用できるようになるまでデータファイルやメッセージの転送が遅れる場合があります。転送が完了するまで、上記の距離に関する指示に従ってください。装置の一部は磁気になっています。装置が金属を引き付ける場合がありますので、聴覚保護装置をお使いの方は、聴覚保護装置を使用した耳にこの装置を当てないでください。装置の近くにクレジットカードやその他の磁気記憶装置を置かないでください。それらに保管されている情報が消去される場合があります。

医療装置

ワイヤレス電話を含む無線通信装置を操作すると、保護が不十分な医療装置の機能に障害を与える恐れがあります。それらが外部無線周波から適切に保護されているかどうかについて、またその他のご質問については、医

師または医療装置メーカーにお尋ねください。医療施設内で装置の電源を切ることが指示されている場合は、その指示にしたがってください。病院や医療施設では、外部無線周波の影響を受けやすい装置を使用している場合があります。

ペースメーカー：ペースメーカーの製造元は、ペースメーカーとの干渉を防止するために、ワイヤレス装置とペースメーカーの間に 15.3 センチ以上の距離を置くよう推奨しています。独立したリサーチ機関、およびワイヤレス技術リサーチ機関も同様の推奨をしています。ペースメーカーをご使用の方は、次の指示にしたがってください。

- 装置とペースメーカーの間には必ず 15.3 センチ以上の距離を保ってください。
- デバイスの電源がオンになっているときには、ペースメーカーにデバイスを近づけないでください。
  干渉を感じる場合は、デバイスの電源を切りデバイスから離れてください。

聴覚補助装置：デジタル無線装置の中には、聴覚補助装置と干渉を起こすものがあります。干渉を起こす場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

乗り物

無線周波信号は、電子燃料注入システム、電子滑り止め、ブレーキシステム、電子速度制御システム、エアバッグシステムなどのモーター自動車に不正に装着された電子システムや、防止が不十分な電子システムに影響を与える場合があります。詳細については、自動車または追加した装置のメーカーまたはその代理店にご確認ください。装置の補修、および自動車

への装置の取り付けは指定された技術者が行ってください。補修や装着は正しく行わなければ大変危険であり、装置に付帯された保証を受けることができなくなります。自動車の無線装置はすべて、正しく装着されていることと、正常に作動していることを定期的にチェックしてください。装置、そのパーツ、またはアクセサリ類と同じ場所に可燃性液体、ガス、あるいは爆発の危険性がある素材を一緒に保管したり、運送したりしないください。エアバッグが搭載された自動車は強い衝撃を受けるとエアバッグが膨らみます。エアバックの上またはエアバッグが膨らむ場所に無線装置 (装着済みまたは携帯用を含む) などを設置しないでください。車内に無線装置が正しく装着されておらず、エアバッグが作動してしまった場合は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。飛行機内でこの装置を使用することは禁止されています。搭乗前に装置の電源を切ってください。機内で無線電話装置を使用すると、飛行機の操縦に危害を与えたり、無線電話ネットワークを中断させたりする場合があり、法律により禁止されている場合もあります。

爆発の可能性がある環境

爆発の危険性がある場所では、かならず装置の電源を切り、表示されている注意や指示にしたがってください。爆発の危険性がある場所とは、通常自動車のエンジンを切るよう指示される場所を含みます。このような場所でスパークすると爆発や火災の原因となり、身体に傷害を与えたり、死亡に至る場合もあります。ガソリンスタンドの近くなど、燃料補給エリアでは装置の電源を切ってください。燃料補給所、貯蔵所、配送エリア、化学工場、爆発性の作業が行われている場所では、無線装置の使用に関する規定にしたがってください。爆発の危険性がある場所には、通常 (ただし必ずではありません) そのことが明記されています。そのような場所とは、

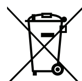
船舶の船室、化学薬品の運送または貯蔵施設、液体石油ガス (プロパンガスまたはブタンガス) を使用する自動車、粒子、ホコリ、あるいは金属粉末などの化学物質や粒子を空中に含む場所などが含まれます。携帯電話の使用が禁止されている場所、または干渉を生じさせたり、危険がある場所では、ノートブックの電源を入れないでください。

緊急電話

警告：この装置から緊急電話を掛けることはできません。緊急電話は携帯電話かその他の電話システムからお掛けください。

破棄について

この電子機器を破棄する場合は、ごみ箱に捨てないでください。公害を最低限に留め、地球環境を可能な限り保護するために、リサイクルにご協力ください。電子および電気製品 (WEEE) の破棄に関する規制については、**www.acer-group.com/public/Sustainability/sustainability01.htm** をご覧ください。



水銀に関する勧告

内部に電球があるプロジェクタまたはディスプレイを含む電子製品の場合：この製品に使用されるランプには水銀が含まれているため、お住まい地域、都道府県、国の法律に従って、正しくリサイクルまたは破棄しなければなりません。詳しくは、Electronic Industries Alliance にお問い合わせください。**www.eiae.org** ランプの破棄については、**www.lamprecycle.org** をご覧ください。



ENERGY STAR



Acer の ENERGY STAR 準拠製品は、消費電力を抑え、機能性や性能に影響を与えることなく環境を保護します。Acer は自信を持って､ENERGY STAR ロゴが付いた製品をお届けします。

ENERGY STARって何？

ENERGY STAR 規格に準拠した製品は､米国環境保護局が設定した厳格なエネルギー効果指南に基づき、消費電力量を抑え、温暖化ガスの発生を最低限に抑えます。Acer は製品およびサービスを国際的に提供することで、お客様がお金とエネルギーを節約し､地球環境を向上できるように努力します。エネルギー効果を高め、省エネに努めるほど、温暖化ガスと環境変化のリスクの低減に大きく貢献することができます。詳しい情報は、**www.energystar.gov** または
www.energystar.gov/powermanagement をご覧ください。

> **注意**：このセクションに記載される説明は、一部のコンピュータにのみ該当します。

Acer ENERGY STAR 準拠製品の特徴：

- 発熱量が少なく､冷却量が少なくて済むため､地球の温暖化防止に役立ちます。
- 無作動状態になると､それぞれ自動的に 10 秒で「画面がスリープ」状態に、30 分で「コンピュータがスリープ」状態になります。
- キーボードのキーを押すか、マウスを動かすと、コンピュータは「スリープ」モードから復帰します。
- コンピュータは「スリープ」モードのとき、80% 以上のエネルギーを節約します。

ENERGY STAR および ENERGY STAR 記号は、米国の登録記号です

快適にご使用いただくために

コンピュータを長時間使用すると、目の疲れや頭痛を感じる場合があります。またコンピュータを長時間操作すると、身体にも危害を及ぼす場合があります。長時間の作業、悪い姿勢、悪い作業習慣、ストレス、不適切な作業環境、ユーザーの健康状態、その他の要素により、身体への危害の可能性が高まります。

コンピュータは正しく使用しなければ、手根管症候群、腱鞘炎、腱滑膜炎、その他の筋骨格障害を引き起こす原因となります。手、手首、腕、方、首、背中に次のような症状が現れる場合があります。

- 麻痺または焼けつくようなヒリヒリするような痛み
- 痛み、疼き、触れると感じる痛み
- 局部的な痛み、腫れ、ずきずきする痛み
- 凝りや緊張
- 冷えや弱々しい感じ

コンピュータを使用するとこのような症状や、その他繰り返し生じる、あるいは常に不快感や痛みを感じるようであれば、直ちに医者の指示を仰ぐか、会社の保健部に知らせてください。

以下に、コンピュータを快適に使用するためのヒントを紹介します。

快適ゾーンを探す

モニタの表示角度を変えたり、フットレストを使用したり、椅子の高さを調整したりして、快適ゾーンを探してください。次のヒントを参考にしてください。

- 長時間同じ姿勢のままでいないでください。
- 前傾になりすぎたり、後ろに反りすぎたりしないでください。
- 定期的に立ちあがって歩き回ることにより、脚の筋肉の緊張をほぐしてください。
- 短い休憩を取り、首や肩を休めてください。
- 筋肉や首の凝りをほぐしてください。
- 外付けディスプレイ、キーボード、マウスは快適に届く範囲に正しく設置してください。
- 文書を見るよりもモニタを見る時間の方が長い場合は、ディスプレイを机の中央に置いて首が凝らないようにしてください。

目の保護について

長時間のモニタ使用、合わないメガネやコンタクトレンズ、グレア、不適切な照明、焦点が合わないスクリーン、非常に小さい文字、コントラストが低いディスプレイは、目の疲れの原因となります。次のセクションでは、目の疲れを低減するためのヒントを紹介します。

目

- 頻繁に目を休めるようにしてください。
- 定期的にモニタから目を離し、遠くを見つめることで目を休めてください。

- ドライアイを防止するために、頻繁に瞬きをしてください。

ディスプレイ

- ディスプレイは清潔に保ってください。
- ディスプレイの中央を見るとき、視線が下を向くように、頭の高さがディスプレイの上辺よりも高くなるようにしてください。
- テキストやグラフィックを見やすいように、ディスプレイの明度やコントラストを快適なレベルに調整してください。
- 次のようにして、グレアや反射を避けてください。
    - 窓や光源からディスプレイが横向きになるように設置します。
    - カーテン、シェード、ブラインドを使用して部屋の明かりを最小化します。
    - タスクライトを使用します。
    - ディスプレイの表示角度を変えます。
    - グレア防止フィルタを使用します。
    - ディスプレイの上辺に厚紙を置いてディスプレイバイザーとして使用します。
- 表示角度が不自然にならないようにディスプレイを調整してください。
- 長時間明るい光源を見つめないでください。

良い作業習慣を身につける

次のような習慣でコンピュータを使用すると、よりリラックスした状態で作業を行うことが可能になり、生産性も向上します。

- 定期的に休憩を取る

- ストレッチ体操を行う
- できるだけ頻繁に新鮮な空気を吸う
- 定期的に体操を行い健康に留意する

警告！コンピュータをソファやベッドの上で使用しないでください。そのようにする必要がある場合は、短時間に留め、定期的に休憩を取ってストレッチ体操をしてください。

注意：詳細は、**87 ページの " 規格と安全のためのご注意 "** を参照してください。

はじめに

Acer ノートブックをお買い上げいただきありがとうございます。

各種ガイドについて

本製品を快適にご使用いただくために、次のガイドが提供されています。

初めての方は、**セットアップポスター**の解説に従ってコンピュータを設定してください。

TravelMate ユーザーガイドには、このコンピュータについての便利な情報が記載されています。本書にはキーボード、およびオーディオの使い方など、基本的な情報が含まれています。

クイックガイドは、本 PC を生産的に使用するための方法を説明します。**TravelMate ユーザーガイド**は、本 PC についてわかりやすく説明しておりますので、良くお読み頂き、指示に従ってください。このガイドには、システムユーティリティ、データ復元、拡張オプション、トラブルシューティングなどの詳細情報を記載しております。その他、保証情報および一般的な規制、安全のためのご注意なども記載されています。コンピュータのデスクトップで **Acer ユーザーガイド** アイコンをダブルクリックしてください。

本 PC の取り扱いと使用に関するヒント

コンピュータをオン / オフにします。

コンピュータの電源を入れるには、電源ボタンを押した後で放してください。電源ボタンの位置は、セットアップ ポスターで確認してください。

本 PC の電源を OFF にするには、次の操作のどれかを行ってください。

- Windows のシャットダウン機能: **[スタート]** をクリックした後、**[シャットダウン]** をクリックします。
- 電源ボタンを使用します。
- スリープホットキー <**Fn**> + <**F4**> を押してもコンピュータをスリープモードにすることができます。

    注意：通常の方法で本 PC の電源を OFF にできない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してください。本 PC の電源を入れ直す場合は、最低 2 秒間待ってください。

本 PC の取り扱い

本 PC は、次の点に注意して取り扱ってください。

- 直射日光に当てないでください。また、暖房機などの熱を発する機器から放してお使いください。
- コンピュータを長時間 0ºC 以下、または 50ºC 以上の環境に放置しないでください。
- 磁気に近づけないでください。
- 雨や湿気にさらさないでください。
- 液体をかけないでください。

- 強いショックを与えたり、激しく揺らしたりしないでください。
- ほこりや塵を避けてください。
- 本 PC の上には、絶対にものを置かないでください。
- ディスプレイを乱暴に閉めないでください。
- 本 PC は、安定した場所に設置してください。

AC アダプターの取り扱い

AC アダプターは、次のように取り扱ってください。

- その他のデバイスに接続しないでください。
- 電源コードの上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。人の往来が多いところには、電源コードおよびケーブルを配置しないでください。
- 電源コードをはずすときは、コードではなくプラグを持ってはずしてください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品の定格電流の合計が超えないように注意してください。

バッテリーパックの取り扱い

バッテリーパックは、次のように取り扱ってください。

- バッテリーパックは、同じタイプのものに交換してください。バッテリーをはずしたり交換したりするときは、本 PC の電源を OFF にしてください。

- 燃やしたり解体したりしないでください。子供の手に届かないところに保管してください。
- ご使用済みバッテリーはお住まい地域の規定にしたがって処理してください。バッテリーは、現地の規則に従って正しく処理またはリサイクルしてください。

清掃とサービス

本 PC の清掃は、以下の手順に従ってください。

1. 本 PC の電源を OFF にして、バッテリーパックをはずしてください。
2. AC アダプタを外します。
3. 柔らかい布で本体を拭いてください。液体またはエアゾールクリーナは、使用しないでください。

次の状況が発生した場合：

- 本 PC を落としたとき、またはケースが損傷したとき
- 本 PC が正常に動かないとき

80 ページの "FAQ" を参照してください。

目次

Acer ノートブックツアー

セットアップ ポスターの解説に従ってコンピューターを設定してください。Acer ノートブックの各部品の名称および操作方法については、以下をご参照ください。



上面



#	アイコン	アイテム	説明
1		マイクロフォン	録音用の内部マイクロフォンです。

#	アイコン	アイテム	説明
2		ディスプレイスクリーン	液晶ディスプレイ (LCD) とも呼びます。コンピューター出力を表示します (構成はモデルによって異なります)。
3		電源ボタン	コンピュータの電源をオン / オフにします。
4		キーボード	コンピュータにデータを入力するときに使用します。
5		タッチパッド	コンピュータマウスと同じように機能し、指を触れることで反応するポインティングデバイスです。
6		電源インジケーター	PC の電源がオンのときに点灯します。
		バッテリーインジケーターボタン	コンピュータのバッテリー状態を表示します。
7		クリックボタン (左、右)	左右ボタンはマウスの左右ボタンを同じ役割を果たします。
8		スピーカー	ステレオ オーディオを出力します。
9		Webcam 統合	ビデオ コミュニケーション用のウェブカメラです。

左面



#	アイコン	アイテム	説明
1		Kensington ロックスロット	Kensington 対応コンピュータ セキュリティ ロックに接続します。 **注意**：コンピューター用安全ロックのケーブルを机やロックした引き出しの取っ手などの動かないものにつなぎます。ロックをセキュリティキーロックノッチに挿入し、キーをまわしてロックを固定してください。キーを使用しないモデルもあります。
2		外部ディスプレイ (VGA) ポート	ディスプレイ デバイスを接続します (外付けモニタ、LCD プロジェクタなど)。
3		Ethernet (RJ-45) ポート	Ethernet 10/100 ベースのネットワークに接続します。
4		USB 2.0 ポート	USB 2.0 デバイスを接続します (USB マウス、USB カメラなど)。

#	アイコン	アイテム	説明
5		2・イン・ワン カードリーダー	Secure Digital (SD)、MultiMediaCard (MMC) に対応しています。 **注意**：押すと、カードの取り出し / 挿入ができます。一度に 1 枚のカードしか操作できません。

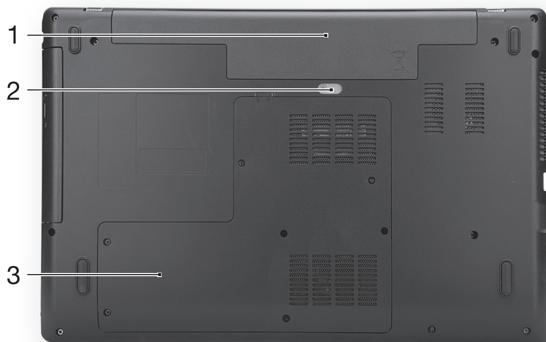
右面



#	アイコン	アイテム	説明
1		マイクロフォンジャック	外部マイクロフォンを接続します。
		ヘッドフォン / スピーカージャック	オーディオデバイスに接続します (スピーカー、ヘッドフォンなど)。
2		USB 2.0 ポート	USB 2.0 デバイスを接続します (USB マウス、USB カメラなど)。
3		光学ドライブ	内部光学ドライブ (CD および DVD に対応)。

#	アイコン	アイテム	説明
4		光学ディスクアクセスインジケータ	光学ドライブが使用中のときには点灯します。
5		光学ドライブイジェクトボタン	ドライブから光学ディスクを取り出します。
6		緊急用イジェクトホール	コンピュータがオフになっているときに、光学ドライブトレイを引き出します。 **注意**：コンピュータがオフの状態の場合は、緊急用イジェクトホールにペーパークリップを差し込むと光学ドライブトレイが出てきます。
7		DC 入力ジャック	AC アダプタに接続します。

底面



#	アイコン	アイテム	説明
1		バッテリーベイ	コンピュータのバッテリーパックを装着します。
2		バッテリー取り外し用つまみ / ロック	バッテリーを取り出します。 つまみに適切なツールを挿入し、スライドさせると取り出せます。
3		メモリコンパートメント	コンピュータのメインメモリを装着します。
		ハードディスクベイ	コンピュータのハードディスクを装着します (ネジで固定)。

タッチパッド

本コンピュータに装備されているタッチパッドは、その表面での動きを感知するポインティングデバイスです。カーソルは、タッチパッドの表面に置かれた指の動きに対応します。タッチパッドはパームレストの中央に装備されているので、ゆったりとした環境で操作することができます。

タッチパッドの基本 (2 ボタン付きモデル)

次のアイテムは、2 ボタン付きタッチパッドの使い方を示したものです。

- 指をタッチパッド の上で動かして、カーソルを移動させてください。
- タッチパッドの縁にある左 および右 ボタンを押して、選択および機能の実行を行ってください。これら 2 つのボタンは、マウスの右および左ボタンと同じように機能します。タッチパッドをタップする (軽くたたく) 方法も同じように機能します。

機能	左ボタン	右ボタン	メインのタッチパッド
実行	2 度クリック		マウスボタンをダブルクリックするのと同じ速さで 2 度タップする
選択	1 度クリック		1 度タップする。

機能	左ボタン	右ボタン	メインのタッチパッド
ドラッグ	クリックしたままカーソルをドラッグ。		マウスボタンをダブルクリックするのと同じ速さで 2 度タップし、指をタッチパッドに置いたままカーソルをドラッグする。
コンテキストメニューにアクセス		1 度クリック	

注意：ここに示す図はすべて参照用です。PC の正確な構成は、お客様が購入されたモデルにより異なります。

注意：タッチパッドは常に - 乾いた清潔な指で - 使用してください。パッドは非常に敏感なので、軽く触れる方がより良く反応します。強くたたいても、パッドの反応を改善することはできません。

注意 : デフォルトにより、タッチパッドで縦および横方向のスクロールが可能です。これを無効にするには、Windows コントロールパネルの [マウス] の設定で行います。

キーボード

キーボードはフルサイズのキーとテンキーパッド *、独立したカーソル、ロック、Windows キー、機能キー、特殊キーで構成されています。

ロックキーと埋め込み数値キーパッド

注意：このセクションに記載される説明は、一部のコンピュータにのみ該当します。

本ノートブック PC には、ON または OFF に切り替えることができるロックキーが 3 つあります。

ロックキー	説明
Caps Lock	Caps Lock がオンのときには、すべてのアルファベット文字は大文字で入力されます。
Num Lock <**Fn**> + <**F11**>*	Num Lock がオンになっているときには、独立したキーパッドが数値モードになります。キーは、計算機のように機能します (+、-、*、と / を含みます)。数値データの入力を大量に行うとき、このモードを利用してください。外付けテンキーパッドを接続することもできます。
Scroll Lock <**Fn**> + <**F12**>	Scroll Lock が ON のとき上または下カーソルキーを押すと、画面はそれぞれ 1 行上または 1 行下に移動します。Scroll Lock は、特定のアプリケーションでは機能しません。

テンキーパッドは、デスクトップのテンキーパッドと同様に機能します。キーキャップの右上隅に小さい文字で示されています。キーボードが見やすいように、カーソル制御キー記号は表示されていません。

アクセス	Num Lock on	Num Lock off
内蔵テンキーパッドの数値キー	通常どおり、数値をタイプしてください。	
内蔵テンキーパッドのカーソル制御キー	<**Shift**> キーを押しながら、カーソルキーを使用してください。	<**Fn**> キーを押しながら、カーソルキーを使用してください。
メインキーボードのキー	<**Fn**> キーを押しながら、内蔵テンキーパッドの文字を入力してください。	通常どおり、文字をタイプしてください。

ホットキー

このコンピュータでは、ホットキーや 2 つ以上のキーを組み合わせて使用することにより、画面の輝度や出力音量など、コンピュータのほとんどのコントロールを調整することができます。

ホットキーを利用するときは、<**Fn**> キーを押しながら、ホットキーの組み合わせとなる、もう 1 つのキーを押してください。

ホットキー	アイコン	機能	説明
<**Fn**> + <**F3**>	(通信アイコン)	通信キー	コンピュータの通信機器を有効 / 無効にします (通信機器は、構成内容によって異なります)。

ホットキー	アイコン	機能	説明
<**Fn**> + <**F4**>		スリープ	PC をスリープモードに切り替えます。
<**Fn**> + <**F5**>		ディスプレイ切り替え	ディスプレイ スクリーン、外付けモニター (接続されている場合)、またはその両方に出力するように切り替えます。
<**Fn**> + <**F6**>		ディスプレイオフ	ディスプレイのバックライトを OFF にして、電源を節約します。キーをどれか押すと、バックライトはオンになります。
<**Fn**> + <**F7**>		タッチパッドのオン / オフを切り替えます。	内蔵タッチパッドをオン / オフにします。
<**Fn**> + <**F8**>		スピーカー ON / OFF	スピーカーをオン / オフにします。
<**Fn**> + <**F11**>		NumLk	キーボードの埋め込みテンキーパッドをオン / オフにします (特定モデルのみ)。
<**Fn**> + < ▹ >		輝度上昇	画面の輝度を上げます。

ホットキー	アイコン	機能	説明
<**Fn**> + <◁>		輝度を下げる	画面の輝度を下げます。
<**Fn**> + <△>		音量を上げる	スピーカーのボリュームを上げます。
<**Fn**> + <▽>		音量を下げる	スピーカーのボリュームを下げます。
<**Fn**> + <**Home**>	▶/II	再生 / 一時停止	選択したメディアファイルを再生または一時停止します。
<**Fn**> + <**Pg Up**>	■	中止	選択したメディアファイルの再生を中止します。
<**Fn**> + <**Pg Dn**>	|◀◀	戻る	前のメディア ファイルに戻ります。
<**Fn**> + <**End**>	▶▶|	次へ	次のメディア ファイルに移動します。

WINDOWS キー

キーボードは、Windows 機能用のキーを 2 つ装備しています。

キー	説明
Windows キー	単独で押すと、[スタート] メニューを開きます。他のキーと合わせて使用すると、別の機能を実行できます。 < > : [スタート] メニューを開いたり、閉じたりします < > + <**D**> : デスクトップを表示します < > + <**E**> : Windows エクスプローラを開きます < > + <**F**> : ファイルやフォルダを検索します < > + <**G**> : サイドバーのアイテムを切り替えます < > + <**L**> : コンピュータにロックを掛けたり (ドメインに接続している場合)、ユーザーを切り替えたりします (ドメインに接続していない場合) < > + <**M**> : すべての画面を最小化します < > + <**R**> : ファイル名を指定して実行ダイアログボックスの表示 < > + <**T**> : タスクバー上のプログラムを切り替えます < > + <**U**> : Ease of Access Center を開きます

キー	説明
	< > + <**X**>：Windows Mobility Center を開きます < > + <**BREAK**>：システムのプロパティを表示します < > + <**Shift+M**>：最小化した画面を復元します < > + <**Tab**>：Windows Flip 3-D を使ってタスクバー上のプログラムを切り替えます < > + <**Space**>：すべてのアイテムを手前に表示し、Windows サイドバーを選択します <**CTRL**> + < > + <**F**>：ネットワーク コンピュータを検索します <**CTRL**> + < > + <**Tab**>：矢印キーにより、Windows Flip 3-D を使ってオープン プログラムを順番に切り替えます
 アプリケーションキー	このキーは、マウスの右ボタンをクリックするのと同じ機能があり、アプリケーションのコンテキストメニューを開きます。

注意：Windows のエディションによっては、ショートカットの中には表示の通りに機能しないものがあります。

ACER BACKUP MANAGER

Acer Backup Manager はわずか 3 ステップで、予定した日時、あるいは必要に応じて、システム全体、あるいは選択したファイルとフォルダのバックアップコピーを作成することができます。

Acer Backup Manager を起動するには、キーボードの上にある Acer Backup Manager キーを押してください。または、[**スタート**] > [**すべてのプログラム**] > [**Acer Backup Manager**] > [**Acer Backup Manager**] を選択します。すると [ようこそ] 画面が開きます。この画面からは、作成したいバックアップの種類を選択できます。

- **マイ ファイルをバックアップ** : バックアップするファイルを選択します。
- **マイ ドライブ全体** : ドライブ全体のバックアップ ファイルを作成します。このファイルを DVD に書き込み、将来コンピュータを復元するときに使用したり、ファイルを USB ドライブに作成したりすることができます。
- **マイ ファイルを移行** : ファイルを新しいコンピュータに移行できるように、ファイルを USB デバイスにコピーします。

作成したいバックアップの種類を選択し、バックアップしたいファイルかドライブを選択した後、画面の指示に従います。

1. バックアップしたい内容を選択します。選択する内容が少なければ少ないほど、処理は早くなりますが、データを失うリスクが高くなります。

2. バックアップコピーを保管する場所を選択します。外付けドライブか、D ドライブを選択する必要があります。Acer Backup Manager はソースドライブにバックアップを保管することができません。

3. Acer Backup Manager がバックアップを作成する頻度を選択します。

これらのステップが完了した後は、予約に基づいてバックアップが行われます。Acer Backup Manager キーを押すと、手動でバックアップを行うことができます。

設定を変更するには、[スタート] メニューから Acer Backup Manager を起動し、上記の手順に従ってください。



Acer eRecovery Management

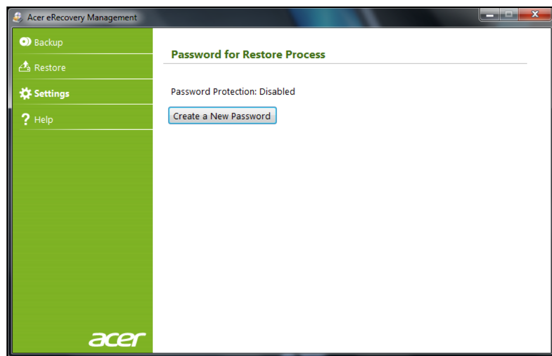
他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、Windows オペレーティングシステムとプレロードされたソフトウェアとドライバを再インストールする必要があるかもしれません。必要な場合に確実にコンピュータを復元できるようにするには、できるだけ早くリカバリー バックアップを作成する必要があります。

Acer eRecovery Management には次の機能が備わっています。

1. バックアップ：
   - 初期イメージ バックアップの作成
   - ドライバとアプリケーションのバックアップ
2. 復元：
   - オペレーティング システムを工場出荷時の状態に戻す
   - オペレーティングシステムを復元し、ユーザーデータを保持
   - ドライバまたはアプリケーションを再インストール

この章では、それぞれの手順を説明します。

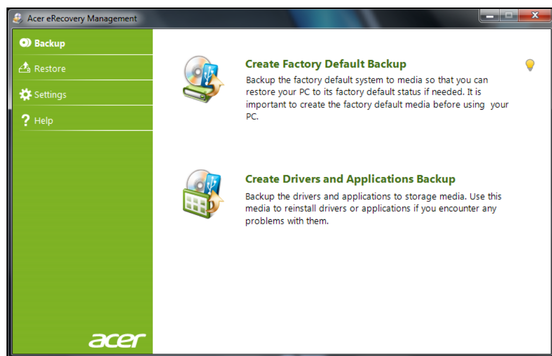
Acer eRecovery Management のパスワード保護機能を使うには、まずパスワードを設定する必要があります。パスワードは Acer eRecovery Management を起動し、[設定] をクリックすると設定できます。



リカバリー バックアップの作成

光学ディスクのバックアップを使用して再インストールするには、先にリカバリー ディスクを作成しておく必要があります。画面に表示される指示に従ってください。指示内容はよくお読みください。

1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [Acer] > [**Acer eRecovery Management**] をクリックします。



ハードディスク全体のオリジナルコンテンツ (Windows とプレロードされたソフトウェアとドライバすべて) のリカバリーディスクを作成するには、**工場出荷時のデフォルトディスクを作成**をクリックします。

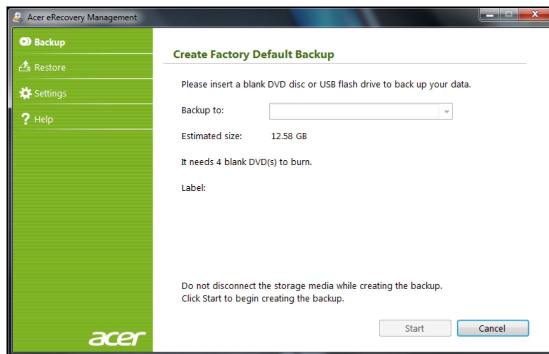
または

プレロードされたソフトウェアとドライバのリカバリーディスクを作成するには、**ドライバとアプリケーションのバックアップディスクの作成**をクリックします。

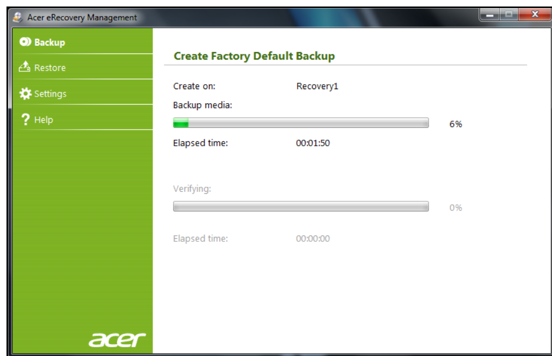
重要：できるだけ早く各タイプのリカバリー バックアップを作成しておかれるようお薦めします。

[初期イメージ バックアップの作成] ダイアログボックスにはリカバリーディスクを作成するのに必要な、空白の書き込み可能なディスクの枚数が

表示されます。作業を開始する前に、同じタイプの空白のディスクが必要な枚数分あることを確認してください。



2. 空白のディスクを**バックアップ先**リストに表示されるドライブに挿入し、**次へ**をクリックします。画面にバックアップの進行状況が表示されます。



書き込みが完了すると、ドライブがディスクをイジェクトします。

3. ドライブからディスクを取り出し、油性のマーカーでディスクの名前を記入してください。

   注意：各ディスクには、「Windows リカバリーディスク 1/2」や「アプリ / ドライバ リカバリーディスク」などのように、分かりやすいラベルを付けてください。ディスクは安全な場所に保管しておき、また保管した場所も覚えておいてください。

4. 複数のディスクが必要な場合は、指示があったら新しいディスクを挿入して **OK** をクリックしてください。すべての作業が完了するまでディスクの書き込みを続けてください。

システムの復元

Acer サポートが問題を解決できない場合は、Acer eRecovery Management プログラムを使用できます。このプログラムはコンピュータを購入時の状態に戻します。すべての設定と個人データを後から回復できるようなオプションもあります。

システムを修復するには

1. ミラー修正を行ってください。

ソフトウェアまたはハードウェアの 1 つか 2 つのアイテムだけが正常に作動しなくなった場合は、ソフトウェアまたはデバイスドライバを再インストールすることによって問題を解決できる場合があります。プレインストールされていたソフトウェアやドライバを工場出荷時の状態に戻すには、**52 ページの " プレインストールされたソフトウェアとドライバの修復 "** を参照してください。プレインストールされていなかったソフトウェアやドライバを再インストールする手順については、製品の説明書またはテクニカルサポートサイトを参照してください。

2. システムを前の状態に戻します。

ソフトウェアやドライバを再インストールしても問題を解決できない場合は、システムが正常に作動していたときの状態にコンピュータを戻すことによって問題を解決できるかもしれません。手順については、**54 ページの " システムを前の状態に戻す "** を参照してください。

3. システムを工場出荷時の状態に戻します。

どうしても問題を解決できず、システムを工場出荷時の状態に戻したい場合は、**55 ページの " システムを工場出荷時の状態に戻す "** を参照してください。

復元タイプ

プレインストールされたソフトウェアとドライバの修復

トラブルシューティングの手順として、コンピュータに工場からプレインストールされていたソフトウェアおよびデバイスドライバを再インストールする必要があるかもしれません。ハードディスクまたは作成したリカバリーディスクのいずれかを使って、復元することができます。

- 新しいソフトウェア : コンピュータにプレインストールされていなかったソフトウェアを修復する必要がある場合は、ソフトウェアのインストールの手順に従ってください。
- 新しいデバイスドライバ : コンピュータにプレインストールされていなかったデバイスドライバを修復する必要がある場合は、デバイスに同梱される説明書の手順に従ってください。

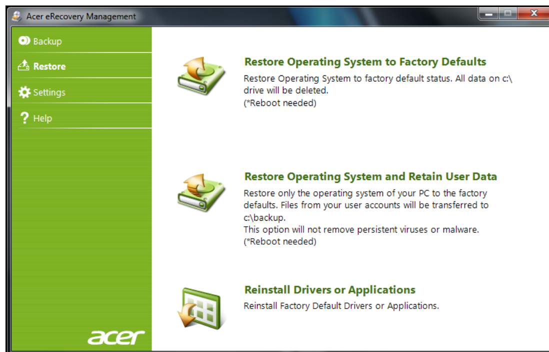
プレインストールされたソフトウェアとドライバを修復するには :

［**スタート**］>［**すべてのプログラム**］>［**Acer**］>［**Acer eRecovery Management**］をクリックします。

または

ドライバとアプリケーションのリカバリーディスクから修復する場合は、ディスクドライブにディスクを挿入し、Acer Application Recovery のメインメニューが開いた後でステップ 3 に進んでください。

1. **復元**タブをクリックし、**ドライバまたはアプリケーションの再インストール**をクリックして Acer Application Recovery メインメニューを開きます。



2. **コンテンツ**をクリックして、ソフトウェアとデバイスドライバのリストを表示します。

3. インストールしたいアイテムのインストールアイコンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了してください。必要なアイテムをすべてインストールできるまで、この手順を繰り返してください。

システムを前の状態に戻す

Microsoft システムの復元は、定期的にシステムの設定の「スナップショット」を撮影し、それらを復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題は、これらの復元ポイントの 1 つを使ってシステムを元に戻すことができます。

Windows は毎日追加の復元ポイントを自動作成します。またソフトウェアやデバイスドライバをインストールしたときにも、これを作成します。

> **チップ** : Microsoft システムの復元の使い方については、[スタート] をクリックした後、[ヘルプとサポート] をクリックします。[ヘルプの検索] 欄に「Windows システムの復元」と入力し、Enter キーを押してください。

復元ポイントに戻るには :

1. **スタート** > **コントロールパネル** > **システムとセキュリティ** > **Action Center** をクリックした後、**回復**をクリックします。
2. **システムの復元を開く**をクリックした後、**次へ**をクリックします。
3. 戻したい時点の復元ポイントをクリックし、**次へ**を選択した後、**完了**を選択します。すると、確認のためのメッセージボックスが表示されます。
4. **はい**をクリックします。システムは指定した復元ポイントまで復元されました。この処理が完了するまでには数分かかります。またコンピュータを再起動する必要があるかもしれません。

システムを工場出荷時の状態に戻す

他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、すべてを再インストールしてシステムを工場出荷時の状態に戻す必要があるかもしれません。ハードディスクまたは作成したリカバリーディスクのいずれかを使って再インストールすることができます。

警告：この完全な修復を実行するとハードディスク上のすべてが削除され、システムにプレインストールされていた Windows とすべてのソフトウェアおよびドライバが再インストールされます。ハードディスク上に重要なファイルがある場合は、今すぐそれらをバックアップしてください。

まだ Windows を起動できる場合は、下の **55 ページの "Windows から修復する "** を参照してください。

Windows は起動できないが元のハードディスクはまだ作動している場合は、**56 ページの " スタートアップ中にハードディスクから修復する "** を参照してください。

Windows を起動できず、元のハードディスクも完全にフォーマットされているか、別のハードディスクが装着されている場合は、**57 ページの " リカバリーディスクから修復する "** を参照してください。

Windows から修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには：

［スタート］>［すべてのプログラム］>［Acer］>［Acer eRecovery Management］をクリックします。

修復タブをクリックした後、**オペレーティング システムを工場出荷時の状態に戻す**をクリックします。

はいをクリックし、次に**開始**をクリックします。するとダイアログボックスにオペレーティングシステムの修復先となるハードディスクについての情報が表示されます。

警告 : 処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

OK をクリックします。コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。この処理には多少時間がかかります。Acer eRecovery Management 画面に進行状況が表示されます。

復元が完了すると、コンピュータを再起動するよう要求されます。

OK をクリックし、コンピュータを再起動します。

初回のシステムセットアップを行うために、画面の指示に従ってください。

スタートアップ中にハードディスクから修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには :

1. コンピュータの電源を入れて、スタートアップ中に <**Alt**> + <**F10**> を押して Acer eRecovery Management を起動します。
2. **オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に戻す**をクリックします。

3. 警告 : 処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。
4. **次へ**をクリックします。すると工場からプレロードされたハードディスクのコンテンツが修復されます。この処理には数分かかります。

リカバリーディスクから修復する

Windows とプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには :

1. コンピュータの電源を入れて最初のシステムリカバリーディスクを光学ディスクドライブに挿入し、コンピュータを再起動します。

警告 : 処理を続行すると、ハードディスクのすべてのファイルが削除されます。

まだ有効になっていない場合は、F12 ブート メニューを有効にする必要があります。

コンピューターを起動したときに、<**F2**> キーを押します。

左右矢印キーを使ってメインメニューを選択します。

F12 ブート メニューが選択されるまで下向きキーを押し、<**F5**> キーを押してこの設定を Enabled (有効) に変更します。

左右矢印キーを使って Exit メニューを選択します。

Save Changes and Exit (変更を保存して終了) を選択して、Enter キーを押します。[**OK**] を押して確認してください。

するとコンピュータが再起動します。

1. スタートアップ中に <**F12**> キーを押すとブートメニューが開きます。ブートメニューでは、スタートするデバイス (ハードディスクか光学ディスク) を選択できます。
2. 矢印キーを使って **CDROM/DVD** (このラインの先頭に "IDE 1..." が付いている場合があります) を選択し、<**Enter**> を押します。Windows は挿入したリカバリーディスクからインストールします。
3. 2番目のリカバリーディスクを挿入するよう表示されたらその指示に従い、画面の指示に従って復元を完了してください。

本ノートブック PC の携帯

ここでは、本ノートブック PC を持ち運ぶときの方法やヒントについて説明します。

周辺装置の取りはずし

以下の手順に従って、本ノートブック PC から周辺装置を外してください。

1. 作業を終了し、保存してください。
2. フロッピーや CD などのメディアをドライブから取り出してください。
3. コンピュータをシャットダウンしてください。
4. ディスプレイを閉じてください。
5. AC アダプターからコードをはずしてください。
6. キーボード、ポインティング デバイス、プリンター、外付けモニターおよびその他の外付けデバイスをはずしてください。
7. ケンジントンロックを使用している場合は、それをはずしてください。

短距離の移動

オフィスデスクから会議室までなどの短距離を移動する場合についてご説明いたします。

携帯するための準備

本ノートブック PC を移動する前に、ディスプレイを閉めて、スリープモードに切り替えてください。これで、ビルの中を移動することができます。本ノートブック PC をスリープモードから標準モードに戻すには、ディスプレイを開けてください。次に、電源ボタンを押してください。

本ノートブック PC をクライアントのオフィスや別のビルに携帯する場合は、本ノートブック PC をシャットダウンすることもできます。

[スタート] をクリックした後、**[シャットダウン]** をクリックします。

- または -

<**Fn**> + <**F4**> キーを押して、本ノートブック PC をスリープモードに切り替えることもできます。ディスプレイをしっかりと閉じてください。

本ノートブック PC を再度使い始めるときは、ディスプレイを開けてください。次に、電源ボタンを押してください。

> **注意**：スリープ LED がオフの場合は、本ノートブック PC はハイバネーションモードに切り替わってオフの状態になっています。電源 LED が OFF でスリープ LED が ON の場合は、本 PC はスリープモードに切り替わっています。どちらの場合も、本ノートブック PC を標準モードに戻すには、電源ボタンを押してください。本ノートブック PC は、スリープモードに切り替わってから一定の時間が過ぎると、ハイバネーションモードに切り替わることがありますので、ご注意ください。

会議に持っていくもの

短時間の会議であれば、コンピュータ以外のものを携帯する必要はないでしょう。ただし長時間にわたる会議や、電池が完全に充電されていない場合は、AC アダプタを携帯されることをお薦めします。

会議室にコンセントがない場合は、本ノートブック PC をスリープモードに切り替えて電源の消費を最小限にとどめてください。本ノートブック PC を使用していないときは、<**Fn**> + <**F4**> キーを押すか、またはディスプレイを閉めるようにしてください。標準モードに戻るには、ディスプレイを開けてください。次に、電源ボタンを押してください。

自宅に持ち帰る

オフィスと自宅の間を移動する場合についてご説明いたします。

携帯するための準備

本ノートブック PC をご自宅に持って帰る場合は、以下の準備を行ってください。

- ドライブからメディアや CD をすべて取り出してあることを確認してください。メディアを挿入したままにしておくと、ドライブのヘッドが破損する場合があります。
- 移動中に動かないように、または落としたときにクッションがあるように、本ノートブック PC を保護ケースまたは携帯用バックに入れてください。

注意：携帯ケースの中に本ノートブック PC 以外のものを多く詰めすぎると、トップカバーに圧力がかかり、スクリーンが破損する恐れがあります。

持っていくもの

すでにご自宅に予備用がある場合以外は、次のアイテムをお持ちください。

- AC アダプターおよび電源コード
- 印刷されたセットアップ ポスター。

注意事項

これらのガイドラインに従って、移動中はコンピュータを保護してください。

- 温度変化による影響を最小限にとどめてください。
- 長時間どこかに立ち寄る場合などは、本ノートブック PC を車のトランクの中などに置いて熱を避けてください。
- 温度および湿度の変化は、結露の原因となることがあります。本ノートブック PC を通常温度に戻し、電源を ON にする前に結露がないかどうか画面をチェックしてください。10°C (18°F) 以上の温度変化があった場合は、時間をかけて本ノートブック PC を通常温度に戻してください。可能であれば、屋外と室内の間の温度に 30 分間置いてください。

ホームオフィスの設定

頻繁にご自宅で本ノートブック PC を使用する場合は、予備用の AC アダプターを購入することをおすすめします。これにより、AC アダプターを持ち運ぶ必要がなくなります。

ご自宅で本ノートブック PC を長時間使用する場合は、外付けキーボード、外付けモニターまたは外付けマウスの使用もおすすめします。

長距離の移動

オフィスからクライアントのオフィスまでや国内旅行など、長距離を移動する場合について説明します。

携帯するための準備

自宅に持ち帰るときと同じ要領で本ノートブック PC を準備してください。バッテリーが充電されていることを確認してください。空港のセキュリティがコンピューターの持ち込み時に電源を ON にすることを要求することがあります。

持っていくもの

以下のアイテムをお持ちください。

- AC アダプタ
- 予備用の完全に充電されたバッテリーパック
- 別のプリンターを使用する場合は、追加のプリンタードライバファイルが必要です。

注意事項

自宅に持ち帰るときの注意事項に加えて、以下の事柄に注意してください。

- 本ノートブック PC は手荷物としてください。
- 本ノートブック PC の検査は手で行ってください。本ノートブック PC は、X 線装置を安全に通過することができますが、金属探知器を使わないようにしてください。
- 手で持つタイプの金属探知器にフロッピーディスクをさらさないでください。

海外旅行

海外に旅行する場合について説明します。

携帯するための準備

国内旅行用の準備と同じ要領で準備してください。

持っていくもの

以下のアイテムをお持ちください。

- AC アダプタ
- 旅行先の国で使用できる電源コード
- 予備用の完全に充電されたバッテリーパック
- 別のプリンターを使用する場合は、追加のプリンタードライバファイルが必要です。
- 購入の証明。空港の税関で、提示する必要がある場合があります
- 国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW)

注意事項

コンピュータを持って移動する際の注意に従ってください。
海外へ旅行される場合は、上記の注意事項に加え、以下のヒントも役に立ちます。

- 海外で本ノートブック PC を使用する場合は、AC アダプタの電源コードが現地の AC 電圧で使用できるかどうかを確認してください。使用できない場合は、現地の AC 電圧で使用できる電源コードをご購入ください。市販の変圧器は使用しないでください。
- 海外でモデムを使用する場合は、モデムとコネクタが現地の通信システムと互換性を持たないことがありますので、ご注意ください。

セキュリティ機能

本ノートブック PC には厳重な管理を必要とする貴重な情報が保管されています。コンピュータを保護し、管理するための方法について説明します。

本 PC のセキュリティ機能は、ハードウェアロック (安全ノッチ) とソフトウェアロック (IC カードおよびパスワード) を含みます。

セキュリティキーロックの使用

このノートブックには Kensington 対応セキュリティスロットが搭載されています。

コンピューター用安全ロックのケーブルを机やロックした引き出しの取っ手などの動かないものにつなぎます。ロックをセキュリティキーロックノッチに挿入し、キーをまわしてロックを固定してください。キーを使用しないモデルもあります。

パスワード

パスワードはコンピュータを不正なアクセスから保護します。これらのパスワードを設定しておくと、コンピュータやデータを異なるレベルで保護することができます。

- スーパバイザパスワードを使って、BIOS ユーティリティへの不正アクセスを防ぐことができます。このパスワードを設定すると、BIOS ユーティリティにアクセスするためには同じパスワードを入力しなければなりません。**68 ページの "BIOS ユーティリティ"** を参照してください。

- ユーザパスワードを使って、本ノートブック PC が不正に使用されることを防ぐことができます。起動時およびハイバネーションモードから標準モードに戻る際のチェックポイントと組み合わせて、最大のセキュリティを提供します。
- ブート時にパスワードを使って、本ノートブック PC が不正に使用されることを防ぐことができます。起動時およびハイバネーションモードから標準モードに戻る際のチェックポイントと組み合わせて、最大のセキュリティを提供します。

  重要！スーパバイザパスワードを忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、弊社のカスタマーサポートセンターへご連絡ください。

パスワードの入力

パスワードがセットされると、パスワードプロンプトが画面の中央に表示されます。

- スーパバイザパスワードがセットされると、<**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスする際や起動するときにプロンプトが表示されます。
- スーパバイザパスワードを入力して <**Enter**> キーを押し、BIOS ユーティリティにアクセスしてください。間違ったパスワードを入力すると、警告メッセージが表示されます。もう 1 度入力し、<**Enter**> キーを押してください。
- ユーザパスワードがセットされて Password on boot パラメータが Enabled にセットされると、起動時にプロンプトが表示されます。

- ユーザパスワードを入力して <**Enter**> キーを押し、本ノートブック PC を使用してください。間違ったパスワードを入力すると、警告メッセージが表示されます。もう 1 度入力し、<**Enter**> キーを押してください。

  重要！パスワードは 3 回まで入力できます。3 回間違って入力すると、本ノートブック PC は動作を停止します。電源ボタンを 4 秒間ほど押し続け、本ノートブック PC をシャットダウンしてください。もう 1 度電源を ON にし、パスワードを入力してください。

パスワードのセット

パスワードは BIOS ユーティリティを使って設定します。

BIOS ユーティリティ

BIOS ユーティリティはコンピュータの BIOS に組み込まれた、ハードウェア構成プログラムです。

本ノートブック PC は、すでに正確に設定されているので、セットアッププログラムを実行する必要はありません。しかし、設定に問題がある場合は、セットアッププログラムを実行することができます。

POST の最中のノートブック PC のロゴが表示されているときに <**F2**> キーを押して、BIOS ユーティリティにアクセスしてください。

起動シーケンス

BIOS ユーティリティで起動シーケンスを設定するには、BIOS ユーティリティをアクティブにし、画面の上に一覧表示されたカテゴリから **Boot** を選択します。

Disk-to-disk recovery 機能の実行

Disk-to-disk recovery 機能を実行するには (ハードディスク復元)、BIOS ユーティリティを有効にして、カテゴリーから **Main** を選択してください。画面の下部に **D2D Recovery** が表示されますので、<**F5**> キーと <**F6**> キーを使ってこの値を **Enabled** に設定してください。

パスワードのセット

起動時にパスワードを設定するには、BIOS ユーティリティをアクティブにし、画面の上に一覧表示されたカテゴリから **Security** を選択します。**Password on boot:** を探し、<**F5**> キーと <**F6**> キーを使ってこの機能を有効にしてください。

ネットワークへの接続

本ノートブック PC は、モバイルコンピューティングに必要なすべての機能を提供しています。

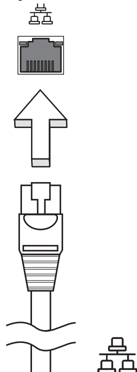
接続オプション

本ノートブック PC には、デスクトップ PC での操作と同じ要領で、周辺装置を接続することができます。各周辺装置の接続については、オンラインガイドをご参照ください。

内蔵ネットワーク機能

内蔵ネットワーク機能を使って、本ノートブック PC をイーサネットベースネットワークに接続することができます。

ネットワーク機能を使用するには、コンピュータのシャーシの Ethernet (RJ-45) ポートからネットワークジャック、またはネットワークのハブに Ethernet ケーブルを接続します。



DVD 映画の再生

DVD ドライブが光ドライブベイに取り付けられている場合は、本ノートブック PC で DVD 映画を再生することができます。

1. DVD を取り出します。

   重要！ DVD　プレーヤーを初めて使用するとき、プログラムは地域コードの入力を要求します。DVD ディスクは、6 地域に分けられています。地域コードをセットすると、その地域の DVD ディスクのみを再生します。地域コードは、最初のセットを含めて最高 5 回セットでき、5 回目にセットしたものを変更することはできません。ハードディスクを復元しても、設定した地域コードの回数はリセットされません。DVD 映画地域コードについては、次の表を参照してください。

2. 数秒後、DVD 映画が自動的に再生されます。

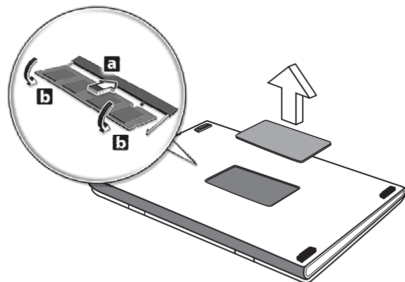
地域コード	国または地域
1	米国、カナダ
2	ヨーロッパ、中東、南アフリカ、日本
3	東南アジア、台湾、韓国
4	ラテンアメリカ、オーストラリア、ニュージーランド
5	旧ソビエト連邦、アフリカの一部、インド
6	中国

注意：地域コードを変更するには、DVD ドライブに別の地域の DVD 映画を挿入してください。詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

メモリのアップグレード

以下の手順に従って、メモリモジュールを取り付けてください。

1. 本ノートブック PC の電源を OFF にしてください。AC アダプターとバッテリーパックをはずし、本ノートブック PC を上下逆さまにして置いてください。
2. メモリカバーを固定しているネジをはずし、メモリカバーを持ち上げてはずしてください。
3. **(a)** メモリモジュールを斜めからスロットに挿入し、**(b)** しっかりと固定されるまでゆっくりと押してください。

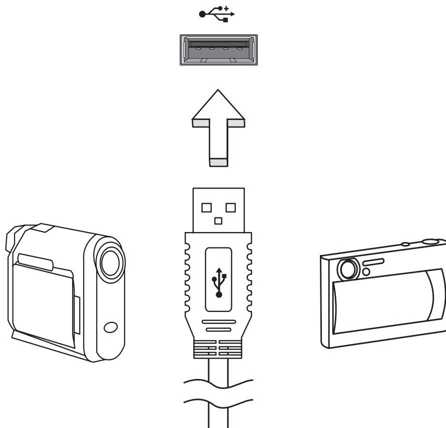


4. メモリカバーを元に戻し、ネジで固定してください。
5. バッテリーパックを元に戻し、AC アダプタを接続してください。
6. コンピュータの電源を入れます。

本ノートブック PC は、自動的にトータルメモリサイズを認識して再設定します。専門の技術者か、お近くの Acer 販売店へお問い合わせください。

USB

USB 2.0 ポートは、システムリソースを使わずに USB デバイスを使用することを可能にする高速シリアルバスです。



バッテリー

本コンピュータは長時間使用できるバッテリーを使用します。

バッテリーの特徴

バッテリーには次のような特徴があります。

- 現在のバッテリー技術規格を採用
- 低残量を警告

バッテリーはコンピュータに AC アダプタを接続すると充電されます。このコンピュータは、使用中でも充電することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く完了することができます。

バッテリーを使用すると旅行中、または停電中でもコンピュータを操作することができます。バックアップのために、完全に充電したバッテリーを予備に用意されるようお薦めします。予備のバッテリー購入については、販売店にお問い合わせください。

バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、まずバッテリーが正しくバッテリーベイに装着されていることを確認してください。AC アダプタをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。バッテリーを充電している間も AC 電源を使ってコンピュータ操作を継続することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く完了することができます。

注意：1 日の終わりにバッテリーを充電されるようお薦めします。ご旅行前に一晩中バッテリーを充電しておくと、翌日バッテリーが完全に充電された状態で作業を開始することができます。

新しいバッテリーのコンディション調整

最初にバッテリーをお使いになる前に、バッテリーの「コンディション調整」を行う必要があります。

1. コンピュータの電源を切った状態で新しいバッテリーを装着します。
2. AC アダプタを接続し、バッテリーを完全に充電します。
3. AC アダプタを外します。
4. コンピュータの電源を入れて、バッテリー電源でコンピュータ操作を行います。
5. 低残量警告が表示されるまで、バッテリーを消耗させます。
6. AC アダプタを接続し、再びバッテリーを完全に充電します。

この手順にしたがって、バッテリーの充電と放電を 3 回繰り返します。

新しいバッテリーを購入された場合、あるいは長時間バッテリーを使用していない場合は、このコンディション調整を行ってください。コンピュータを 2 週間以上使用しない場合は、バッテリーを取り外しておいてください。

警告：**バッテリーを長時間 0°C 以下、または 45°C 以上の環境に放置しないでください。極度な環境では、バッテリーに著しい影響を与える恐れがあります。**

バッテリーのコンディション調整を行い、バッテリーをできるだけ長期間使用できるように整えてください。この調整を行わなければ、バッテリーの充電可能回数が少なくなり、寿命も短くなります。

また次のような使用パターンは、バッテリーの寿命に影響します：

- バッテリーを装着したままで常に AC 電源を使用する。常に AC 電源を使用したい場合は、バッテリーを完全に充電した後外しておくようお薦めします。
- 上記で説明した方法で完全に充電と放電を行わない。
- 頻繁に使用する。バッテリーは使えば使うほど、寿命が短くなります。標準のコンピュータバッテリーは、約 300 回充電することができます。

バッテリーの寿命を最適化する

バッテリーの寿命を最適化すると、充電 / 放電サイクルを延長させ、効率良く充電することができるようになります。次のアドバイスにしたがってください。

- 予備のバッテリーを購入する
- できるだけ AC 電源を使用し、バッテリーは外出用に保存しておく
- PC カードは電力を消費するため、これを使用しないときには外しておく (特定モデルのみ)
- バッテリーは涼しい、乾燥した場所に保管する。推奨する温度は 10°C から 30°C です。気温が高くなると、バッテリーはより早く自己放電します。
- 何度も充電を繰り返すとバッテリーの寿命は短くなります。
- AC アダプタとバッテリーは定期的なお手入れが必要です。

バッテリー残量の確認

Windows の電源メーターに現在のバッテリー残量が表示されます。タスクバー上のバッテリー / 電源アイコンにマウスカーソルを合わせると、バッテリーの残量が表示されます。

低残量警告

バッテリーを使用するときには、Windows の電源メーターに注意してください。

警告 : バッテリーの低残量警告が表示されたら、速やかに AC アダプタを接続してください。バッテリーが完全に消耗すると、コンピュータがシャットダウンしますのでデータが失われてしまいます。

バッテリーの低残量警告が表示された場合の対処法は、作業状況によって異なります。

状況	対処法
AC アダプタとコンセントが近くにある場合。	1. AC アダプタをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。 2. 必要なファイルすべてを保存します。 3. 作業を再開します **バッテリーをできるだけ速く充電したい場合は、コンピュータの電源を切ってください。**

状況	対処法
予備のバッテリーがある場合	1. 必要なファイルすべてを保存します。 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. コンピュータの電源を切ります。 4. バッテリーを交換します。 5. コンピュータの電源を入れて、作業を再開します。
AC アダプタとコンセントが近くになく。予備のバッテリーもない場合。	1. 必要なファイルすべてを保存します。 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. コンピュータの電源を切ります。

バッテリーの装着と取り外し

> **重要！ コンピュータを続けて使用したい場合は、バッテリーを取り外す前に必ず AC アダプタを接続してください。そうでない場合は、まずコンピュータの電源を切ってください。**

バッテリーの装着：

1. バッテリーを開いたバッテリーベイに合わせます。バッテリーのコンタクト部分を先に、バッテリーの上面が上を向くように挿入してください。
2. バッテリーをバッテリーベイにスライドさせ、バッテリーがしっかりとロックされるようにやさしく押してください。

バッテリーの取り外し：

1. バッテリー取り外しラッチをスライドさせてバッテリーを外します。
2. バッテリーをバッテリーベイから取り出してください。

FAQ

本 PC を使用しているときに発生する可能性のあるトラブルとその対処方法をご説明いたします。それぞれのトラブルの対処方法も説明してあります。

電源は入りますが、コンピュータが起動またはブートしません。

電源 LED をチェックしてください。

- 点灯していない場合は、電源が供給されていません。以下についてチェックしてください。
  - バッテリー電源で本 PC を動作している場合は、バッテリー充電レベルが低くなっている可能性があります。AC アダプターを接続してバッテリーパックを再充電してください。
  - AC アダプターが本 PC とコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 点灯している場合は、以下についてチェックしてください。
  - 光学ドライブにディスクが挿入されていますか ? ディスクを取り出し、<**Ctrl**> + <**Alt**> + <**Del**> キーを同時に押して本 PC を再起動してください。
  - コンピュータに USB メモリデバイス (USB ディスクまたはスマートフォン) を接続していますか ? それを取り出し、<**Ctrl**> + <**Alt**> + <**Del**> キーを同時に押して本 PC を再起動してください。

画面に何も表示されません。

本 PC のパワーマネージメントシステムは、電源を節約するために自動的に画面を OFF にします。任意のキーを押してください。

キーを押しても正常な状態にもどらない場合は、次の 3 つの原因が考えられます。

- 輝度レベルが低すぎる可能性があります。<**Fn**> + < ▹ > (増加) キーを押して、輝度を調節してください。
- ディスプレイデバイスが外付けモニターにセットされている可能性があります。ディスプレイ切り替えホットキー <**Fn**> + <**F5**> を押し、ディスプレイを切り替えてください。
- スリープ LED が点灯している場合、本 PC はスリープモードに切り替わっています。電源ボタンを押し、標準モードに戻ってください。

オーディオ出力がありません。

以下についてチェックしてください。

- ボリュームが上がっていない可能性があります。Windows 環境では、タスクバーのボリューム制御 (スピーカー) アイコンをチェックしてください。アイコンをクリックして、全ミュート機能を取り消してください。
- ボリュームレベルが低すぎる可能性があります。Windows 環境では、タスクバーのボリューム制御アイコンをチェックしてください。ボリューム制御ボタンを使って調節することもできます。
- ヘッドホン、イヤホンまたは外付けスピーカーが本 PC の右側のラインアウトポートに接続されている場合、内蔵スピーカーは自動的に OFF になります。

本 PC の電源が OFF の状態で光学ドライブトレイを取り出したい。

光学ドライブには、強制イジェントボタンがあります。ペンの先やクリップを挿入し、トレイを取り出してください。

キーボードが動作しません。

外付けキーボードを本 PC の背面パネルにある USB コネクタに接続してください。これが動作する場合は、内部キーボードケーブルが損傷している可能性があります。

プリンターが動作しません。

以下についてチェックしてください。

- プリンターをコンセントにしっかりと接続し、電源を ON にしてください。
- プリンタ ケーブルがしっかりと USB ポートとプリンタの相当ポートに接続されていることを確認してください。

リカバリーディスクを使用せずにコンピュータを元の設定に戻したいのですが。

注意：多言語バージョンのシステムの場合は、システムを初めて起動したときに選択したオペレーティングシステムと言語が復元作業において選択されます。

この復元処理により、C: ドライブを ノートブックを購入したときにインストールされていたソフトウェアの元の内容に復元できます。次の手順にしたがって C: ドライブを構成し直してください。(ドライブは再フォーマットされ、すべてのデータは失われます)。このオプションを実行する前に、すべてのデータファイルをバックアップしてください。

復元を行う前に、BIOS 設定を確認してください。

1. **Acer disk-to-disk recovery** が有効かどうかを確認してください。
2. メインで **D2D Recovery** 設定が**有効**に設定されていることを確認してください。
3. BIOS ユーティリティを終了して、変更内容を保存します。以上でシステムがリブートします。

注意：BIOS ユーティリティを起動するには、POST 実行中に <**F2**> を押します。

リカバリーの手順：

1. システムを再起動します。
2. Acer ロゴが表示されている間に <**Alt**> + <**F10**> を同時に押すと、リカバリー処理に入ります。
3. 画面の指示に従ってシステムを復元してください。

重要！ この機能はハード ディスク上の隠しパーティションに 15 GB を占有します。

サービス リクエスト

国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW)

本コンピュータには、ご旅行中も安心してご使用いただけるように、国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW) が付いています。世界各地にある弊社のサービスセンター ネットワークがお手伝いします。

本コンピュータには ITW パスポートが付いています。このパスポートには、ITW プログラムについての重要な情報が記載されています。専門の

サービス センターの所在地もこの冊子に記載されています。このパスポートを最後までよくお読みください。

サポートセンターからサポートを受けるためには、特にご旅行時には必ず ITW パスポートをお持ちください。ITW パスポートの表紙裏に購入証明 (レシート) を挟んでおいてください。

ご旅行先に Acer が認めた ITW サービスセンターがない場合は、現地の弊社支店へお問い合わせください。詳しくは、**www.acer.com** をご覧ください。

お電話をおかけになる前に

Acer に電話でお問い合わせになる場合は、コンピュータと次の情報をお手元にご準備ください。このようにしておくことで、通話時間を短縮し、問題を効率的に解決することができます。コンピュータにエラーメッセージが表示されたり、ビーという音がする場合は、画面に表示された通りにそのメッセーイを書き留めておいてください (音の場合は回数と音のパターン)。

次の情報が必要となります。
お名前 : ______________________________
ご住所 : ______________________________
電話番号 : ____________________________
コンピュータとモデルタイプ : ______________
シリアル番号 : _________________________
購入日 : ______________________________

トラブルシューティング

この章では、発生する可能性のあるトラブルに対処する方法についてご説明いたします。問題が発生した場合は、技術者に問い合わせる前にこのセクションをお読みください。トラブル状態から復旧できない場合は、本 PC を開ける必要があります。この場合は、お客様ご自身で行わずに、弊社のカスタマーサポートセンターへご連絡ください。

トラブル対策のヒント

本ノートブック PC は、トラブルの解消を助けるエラーメッセージを表示します。

エラーメッセージが表示されたりトラブルが発生した場合は、「エラーメッセージ」を参照してください。トラブルを解消できない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターへご連絡ください。**83 ページの " サービスリクエスト "** を参照してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたら、それを書き出して対処してください。次の表は、エラーメッセージをその対処と合わせてアルファベット順に説明します。

エラーメッセージ	対処方法
CMOS battery bad	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
CMOS checksum error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

エラーメッセージ	対処方法
Disk boot failure	システム (ブータブル) ディスクを挿入し、<**Enter**> を押してリブートします。
Equipment configuration error	POST の最中に <**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、本ノートブック PC を再設定してください。
Hard disk 0 error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Hard disk 0 extended type error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
I/O parity error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Keyboard error or no keyboard connected	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Keyboard interface error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Memory size mismatch	POST の最中に <**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、本ノートブック PC を再設定してください。

以上のように対処してもトラブルが解消されない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

規格と安全のためのご注意

FCC 規格

本製品はテストの結果、FCC 規定のパート 15 に基づくクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は住宅に設置した場合に有害な干渉が起きないようにするためのものです。本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用されない場合、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかし、いかなる特定の設置条件でも干渉が起きないことを保証するものではありません。この装置によってラジオやテレビの受信に有害な干渉が発生する場合は (装置の電源をオン / オフすると分かります)、次の 1 つ以上の方法で干渉をなくすようにしてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- 装置と受信装置の距離を広げる
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に問い合わせる

注意：シールド付きケーブル

コンピュータ機器との接続においては、FCC 規定に準拠するためにシールド付きケーブルを使用する必要があります。

注意：周辺機器

この装置には、クラス B の制限に準拠することが認められた周辺機器 (出入力機器、端末、プリンタなど) のみ接続することができます。認証されていない周辺機器を接続すると、ラジオや TV 受信機が干渉を受ける可能性があります。

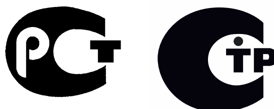
注意 : 製造元が明記する場合を除き、この製品に変更や改造を加えると、FCC で認められたこの製品の使用権利が失われます。

カナダにお住まいの方へ

このクラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ロシアの規定証明に準拠



LCD ピクセルに関する宣言

LCD ユニットは、高精細な製造技術を駆使して生産されています。しかしながら、ときどき一部の画素が抜け落ちたり、黒または赤い点として表示される場合があります。これは保存した画像には影響しませんし、故障を引き起こすものでもありません。

無線機器の規定に関する情報

注意：下記の情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth のみが搭載されているモデルのためのものです。

ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用するよう設計されています。

この製品は、ワイヤレスの仕様が認められた国または地域の無線周波および安全規定に準拠しています。構成によって、この製品にはワイヤレス無線装置 (ワイヤレス LAN や Bluetooth モジュール) が含まれる場合があります。下記の情報は、このような機器のためのものです。下記の情報は、このような機器のためのものです。

欧州連合の規定への準拠
Acer は、1999/5/EC 指令において求められる条件、およびその他関連する条項に準拠していることを宣言します。

異なるドメイン用のワイヤレス制御チャンネル

北米	2.412-2.462 GHz	Ch01 から Ch11
日本	2.412-2.484 GHz	Ch01 から Ch14
ヨーロッパ ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 から Ch13

フランス：制限されたワイヤレス周波域

フランスの一部の地域では、周波域が制限されています。最悪のケースで許可される室内最大電力は、

- 2.4 GHz (2400 MHz - 2483.5 MHz) 帯域全体で 10 mW
- 2446.5 MHz から 2483.5 MHz までの周波数域で 100 mW

注意：チャンネル 10 から 13 は、2446.6 MHz から 2483.5 MHz までの帯域での操作専用となっています。

野外使用においては、いくつかの可能性があります。個人の土地または行政人の土地においては、国防省の仮許可により 2446.5 - 2483.5 MHz 帯域で最大 100 mW の電力が認められています。公的施設の野外での使用は禁止されています。

下記の県では、2.4 GHz 帯域全体 :

- 最大室内電力 100 mW
- 最大野外電力 10 mW

2400 - 2483.5 MHz 帯域を使用する県では、室内 100 mW 以下と野外 10 mW 以下の EIRP が許可されています。

01 Ain Orientales
02 Aisne
03 Allier
05 Hautes Alpes
08 Ardennes
09 Ariege
11 Aude
12 Aveyron
16 Charente
24 Dordogne
25 Doubs
26 Drome
32 Gers
36 Indre
37 Indre et Loire
41 Loir et Cher
45 Loret
50 Manche
55 Meuse
58 Nievre
59 Nord
60 Oise
61 Orne
63 Puy Du Dome
64 Pyrenees Atlantique
66 Pyrenees
67 Bas Rhin
68 Haut Rhin
70 Haute Saone
71 Saone et Loire
75 Paris
82 Tarn et Garonne
84 Vaucluse
88 Vosges
89 Yonne
90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne

フランス国内でもより広い地域でワイヤレス LAN カードを使用できるように、この要件は将来変更されるものと思われます。
最新情報については、ART にお問い合わせください (**www.art-telecom.fr**)。

注意：この WLAN カードは 100 mW 以下、10 mW 以上の電波を転送します。

国番号一覧

この機器は次の国で使用することができます。

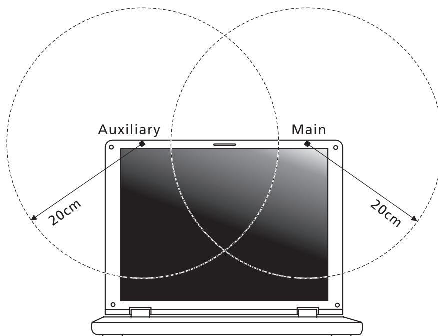
国名	ISO 3166 2 文字コード	国名	ISO 3166 2 文字コード
オーストリア	AT	マルタ	MT
ベルギー	BE	オランダ	NT
キプロス	CY	ポーランド	PL
チェコ共和国	CZ	ポルトガル	PT
デンマーク	DK	スロバキア	SK
エストニア	EE	スロベニア	SL
フィンランド	FI	スペイン	ES
フランス	FR	スウェーデン	SE
ドイツ	DE	イギリス	GB
ギリシャ	GR	アイスランド	IS
ハンガリー	HU	リヒテンシュタイン	LI
アイルランド	IE	ノルウェー	NO
イタリア	IT	スイス	CH
ラトヴィア	LV	ブルガリア	BG
リトアニア	LT	ルーマニア	RO
ルクセンブルグ	LU	トルコ	TR

FCC RF の安全条件

LAN Mini PCI カードおよび Bluetooth カードの放射電力量は、FCC 無線周波被爆の制限値を大きく下回ります。いずれにしても、このノートブック PC：

1. RF オプション機器のユーザーガイドに記載される、ワイヤレス オプション機器の RF に関する注意に従ってご使用ください。

注意：**FCC RF 被爆の条件に準拠するために、スクリーン部分に組み込まれているワイヤレス LAN Mini PCI カードのアンテナと人間との距離は、最低でも 20cm 以上でなければなりません。**



注意：ワイヤレス Mini PCI アダプタには、送信多様化機能が備えられています。この機能は、両方のアンテナから同時に無線周波を発することはありません。無線通信の品質を向上させるために、アンテナの 1 つが自動的に、または手動で (ユーザーにより) 選択されます。

1. このデバイスは、周波域 5.15 から 5.25 GHz の範囲で作動するため、室内専用となっています。FCC は同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、このデバイスを周波域 5.15 から 525 GHz の室内で使用することを義務付けています。

2. 高出力レーダーは、5.25 ～ 5.35 GHz 帯域および 5.25 から 5.35 GHz 帯域の一時ユーザーとして割り当てられています。レーダー基地は干渉を生じさせ、このデバイスが故障する場合があります。
3. 適切に設置しなかったり、不正に使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じさせる場合があります。また内部アンテナを改造したりすると、FCC 認証と保証が無効になります。

カナダ - 低出力ライセンス免除無線通信デバイス (RSS-210)

RF フィールドによる人体被爆 (RSS-102)

このノートブック PC シリーズは、カナダ保健省が定める、一般的な居住地域における制限を超える RF フィールドを放射しない、低ゲイン統合アンテナを装備しています。詳細は、カナダ保健省のホームページ (**www.hc-sc.gc.ca/rpb**) から安全コード 6 をお読みください。

このデバイスはカナダ産業省の RSS210 に準拠しています。

このクラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003、係争 4 と RSS-210, No 4 (2000 年 12 月) および No 5 (2001 年 11 月) に準拠しています。

" ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で、できるだけ窓から離れて使用します。屋外に設置されている装置 (またはそのアンテナ) は、ライセンスを受ける必要があります。"

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003, No. 4, et CNR-210, No 4 (Dec 2000) et No 5 (Nov 2001).

« Pour empêcher que cet appareil cause du brouillage au service faisant l'objet d'une licence, il doit être utilisé a l'intérieur et devrait être placé loin des fenêtres afin de fournir un écran de blindage maximal. Si le matériel (ou son antenne d'émission) est installé à l'extérieur, il doit faire l'objet d'une licence.

注意: IEEE 802.11a ワイヤレス LAN を使用する際は、この製品は周波域 5.15 から 5.25 GHz の範囲で作動するため、室内で使用しなければなりません。カナダ産業省は同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、このデバイスを周波域 5.15 から 525 GHz の室内で使用することを義務付けています。高出力

レーダーは、5.25 ～ 5.35 GHz 帯域および 5.35 から 5.85 GHz 帯域の一時ユーザーとして割り当てられています。レーダー基地は干渉を生じさせ、このデバイスが故障する場合があります。

ポイント・トゥ・ポイントの操作で、5.25 ～ 5.35 および 5.725 ～ 5.85 GHz の周波数範囲における E.I.R.P の制限に準拠しているため、このデバイスで使用できるアンテナ数は 6 dBi です。

LCD PANEL ERGONOMIC SPECIFICATIONS

Design viewing distance	500 mm
Design inclination angle	0.0°
Design azimuth angle	90.0°
Viewing direction range class	Class IV
Screen tilt angle	85.0°
Design screen illuminance	- Illuminance level: [250 + (250cosα)] lx where α = 85° - Color: Source D65
Reflection class of LCD panel (positive and negative polarity)	- Ordinary LCD: Class I - Protective LCD: Class III
Image polarity	Both
Reference white: Pre-setting of luminance and color temperature @ 6500K (tested under BM7)	- Yn - u'n - v'n
Pixel fault class	Class II